

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

全国会議ニュース



2024年11月8日発行 (No.38) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

<https://www.f-zenkoku.net/>



社会福祉経営全国会議・・・「ブロック活動」が元気です～！

—各地のブロックでの交流を報告します—

/中・四国ブロック/

中国四国ブロックでは10月1日、2日とブロックでは初めてとなる現地開催でのブロック会議を開催しました。

会議では20名が広島県に集い、指定報告として『この少子化時代に新しい保育園！？』、『この度の報酬改定への対応と経営課題について』のテーマで、愛児福祉会さん、もみじ福祉会さんからの発表と合わせてそれぞれの事業所を見学させていただきました。



現地開催ならではのまさに“近い距離間”での意見交流ができ、学びの多い会議となりました。

参加者からは「新規事業にあたりこだわりと強い意志が難局を打開する」、「事業運営には地域との関係づくりが重要で財産にしていかなければならない」、「就労者皆さんの元気と役割の多様性にびっくりした」等の感想が出されました。

また、夕食交流会では更に交流が深まり「次回は岡山の地で再会しよう！！」と次回開催も決定し、“現地開催”の大切さをかみしめながら帰路につきました。

この度は会員法人さんではない法人さんの参加もあり、この会議が入会のきっかけになれば最高です。
(ブロック世話人 井上伸二)

/東海・北信越ブロック/

「東海北信越ブロック交流会 in 岐阜」を開催しました。

昨年の静岡に引き続き、今回は岐阜 長良川温泉「十八楼」に岐阜、愛知、三重、静岡と全国会議より 18 法人 35 名(愛知 11 法人:静岡 3 法人:(内未加盟1法人):三重 1 法人、岐阜 3 法人、全国会議:峰島、堤)が「テーマ:つながろう！思いや悩みを語り合おう！その思いを国に伝えよう～」のもとにつどい、学び、交流を深めました。

・開催日:2024年10月22日(火)～10月23日(水)

・会場:岐阜 長良川温泉 十八楼

交流会企画 (一日目) 13:30～17:00

・法人実践報告を、静岡福祉会「これまでも、これからも、夢をあきらめない～やる気、元気、勇気小規模法人の挑戦～」、みなと福祉会「障害児者事業の現状」、たんぼぼ会「高齢者事業の現状」、緑の丘福祉会「人材確保」の4法人から報告して、グループ(5グループ)に分かれて意見交流をおこないました。

懇親会 18:30～20:00 には、31人が参加して、グループ討議報告。

法人紹介など、その後も、各部屋で夜遅くまで交流を深めました。

交流会企画 (二日目) 分野別課題報告 9:00～11:00

保育「保育分野の課題」・障害「障害者支援にかかわる問題提起」、高齢「名古屋市内デイサービス運営・経営実態調査結果報告書」の各分野からの報告をうけて、コーディネーターから「岸田内閣での25概算要求の行方を考える」(峰島全国会議理事)報告され深められました。次に、交流会シリーズとして、「なぜ、理事長になったのかシリーズ⑥」を社会福祉法人ひよこ会 伊藤理事長より語っていただきました。最後に、堤全国会議事務局より、交流会のまとめをしていただきました。交流会の感想として、「全国会議加盟法人を複数にして、次期開催地を、三重で！！」と決意表明がありました。
(ブロック世話人 松宮行宏)



◆ **関西ブロック**では、9月に京都府で、来年1月には兵庫県でそれぞれ集いが予定され、大阪府では支部主催の「経営研究交流会」が11月29日に予定されています。**北海道・東北ブロック**は2か月ごとにブロック会議が開かれ、**関東ブロック**では11月13日に会議が行われます。

九州・沖縄ブロックでは・・・

2025年開催の「第3回全国福祉経営研究交流会 in九州・沖縄」の成功をめざし、12月にプレ企画が開催されます。九州・沖縄ブロックの皆様をはじめ、全国からも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

12/5.6 第3回全国福祉経営研究交流会 in九州・沖縄 プレ企画のご案内

第3回全国福祉経営研究交流会in九州・沖縄プレ企画 & 第3回現地実行委員会【対面とzoomの併用開催】

[プレ企画&第3回実行委員会チラシ.pdf](#) (👉案内チラシのリンクです)

●日程:2024年12月5日(木)・6日(金)

●会場: ホテルニュープラザKURUME

●プログラム:

(12月5日)

プレ企画13:00～15:00

・実行委員長挨拶 内田芳夫氏(麦の芽福社会理事長)

・全国会議活動報告

・学習会

①社会福祉を取り巻く情勢と特徴

茨木範宏氏(全国会議会長)

②人を大切にする経営実践 ～担い手と共につくる民主的経営とは～

③2024沖縄・平和の学びと連帯ツアー報告

※企画の終了後、引き続き「懇親会」(有料)を行います。

(12月6日)

・現地施設見学10:00～11:30

社会福祉法人コスモス会 大橋保育園

施設見学と園長のお話しです。

「2023年7月の大雨による床上浸水被害から復旧までの道のりは

決して平たんではありませんでした。」

👉 社会福祉経営全国会議九州・沖縄ブロック 第3回全国社会福祉経営研究交流会in九州・沖縄実行委員会事務局
連絡先:0949-28-1880 mailAD honbu@shimozakaihoikuen.ed.jp (頓野児童福祉会:中岡)

◆参加費:無料
懇親会参加費 7000円

◆参加申込方法
Googleフォームでのお申込み
<https://forms.gle/bgMNBXHMSpyeNYhy7>

◆対面&Zoom併用開催となります。

◆宿泊についてのご案内

宿泊を希望される方は、参加申込フォームに宿泊申込項目がありまので、そちらからお申込み下さい。(宿泊申込者には別途ご案内します)(宿泊先)
ホテルニュープラザKURUME
一泊朝食付きお一人7500円

財務管理研修を終えました！【報告】 一ご参加、ありがとうございました

今年も基礎編・応用編の2回にわたり、財務管理研修を開催しました。

講師は、経営実態調査や管理職養成学校でもお世話になっている、山本匡人先生(中央会計税理士法人・(株)大阪中央会計事務所)です。

社会福祉法人改革をはじめ、法人の自己責任で経営努力を促す連携・協働化や大規模化への誘導など、社会福祉法人を取り巻く環境がますます厳しくなっています。それに対抗するために社会福祉法人同士や地域との連携・共同を図っていくことが重要で、全国会議の意義はとて大きいとの山本先生のお話、この研修の目的をしっかりと押さえることができました。

その上で、管理者に求められる3つのポイントについて学びました。

① 現状の課題を数字で把握できる→決算書類が読めること

② 中長期的な経営の視点をもつ→中長期的な財務管理ができること

③ 目標の進捗状況と最新の状況をつかむこと→月次の財務管理ができること

指標を使って決算の数字を読み解くワークや、中長期計画・月次決算の具体的な手法も紹介され、実践に活かせる内容でした。また、「決算理事会で何を伝えるべき？」との質問に応じて、経営実態調査に回答した法人に配付される「経営分析個別シート」を示しながら説明のポイントを教えていただきました。

アンケートには「財務管理は、単なる収支の管理だけでなく、法人組織の運営を持続可能にするための役割をはたしていると思いました」「予算作成の重要性と年1の決算のための月次決算(月次締め)の実施がとても大切な事が痛感しました」などの感想が寄せられました。ここで得た学びを自身の職場で実践していくことが何より肝心です。

山本先生が背中を押して下さっているように、「自法人に合わせて柔軟に」「できるところから」、まずはとりかかってみましょう。
(社会福祉経営全国会議 研修委員 勝原祐子)

◆企画紹介◆ 労務研修(基礎編) 12月12日(木)13時30分～16時30分 参加費 会員/4000円
経営実態調査報告会 11月28日(木)13時30分～17時 参加費 会員/4000円
詳しくは、ホームページからご覧いただけます。参加申し込みもできます。〈「研修」もしくは「トピックス」より〉